

CNP広域連携輸送検討WT

基本的な方向性

- 【考慮事項①】 時間軸を踏まえた課題と対応の方向性
 - 【考慮事項②】 広域的な潜在需要（段階的な需要変化含む）
 - 【考慮事項③】 広域連携輸送を前提とした必要な施設や用地のスペック・規模
- ⇒方向性：広域連携輸送の最適範囲とネットワークモデルの構築

今後の検討事項

CNP広域連携輸送ネットワークの検討ステップ(案)

海外積出港から需要地までの輸送・貯蔵を対象

需要

- 【考慮事項①】: 水素・燃料アンモニア等の広域需要推計
- ・ 水素・燃料アンモニアの利用が検討される分野別・港別に需要を想定
- ・ 量・発生地・時間軸を想定

+

供給

- 【考慮事項②】: 水素・燃料アンモニア等の脱炭素化施設への供給方法
- ・ 案件開発の状況等に基づき、海外からの供給を想定(国内の地域水素源についても整理)
- ・ 供給国等と調達割合を想定

+

輸送・貯蔵

- 【考慮事項②③】: 受入施設等の必要スペック
- ・ 外航、二次輸送(内航)、貯蔵等につき想定
- ・ 輸送船の船型、輸送方式、貯蔵方式等を想定

日本海側の最適な海上輸送網

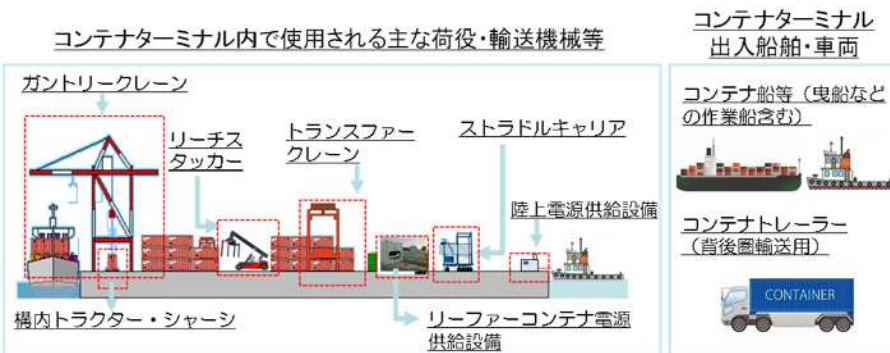
: 仮定シナリオに基づく広域連携輸送のコスト比較

CNP新技術等活用検討WT

基本的な方向性

- 【考慮事項①】 CNP新技術等導入の区分整理
 - 【考慮事項②】 CNP新技術等実証試験のモデルランニング・ロードマップ
- ⇒方向性：CNP新技術等活用に向けた連携・情報共有体制の構築

今後の検討事項



本WTが中心となり、北陸地域の行政機関、港湾立地・利用企業等が連携・情報共有できる体制の構築を図る。

